

午後一時再ヒ工場主、即ちヨリ訪レタルカ工場主  
不在、爲前記因に附得ニ會見シ鑑察ニ提供  
シ要求書(解雇手續)付因爲シ求メタルニ因  
因ハ工場主、意見ノ既ニ表明シ夕九時半ニシテ  
再考、余地丁キ七成工側ノ無株科解説、意アル  
ニ於ニハ因個個人トニテ相處後金シ給興工  
梯盡力スヘシト速ナル事アリニ設工側人更ニ  
相處給興工トハ意見殊漠然トシテ捕獲シ難キヲ  
以テ額ヲ納示スシト迫リ之ニ對シ因ハ解雇者  
金部ニ對シ五角田位一下意觀シ或シ夕九時半工  
側ハ其額等少十日後之服セ又不得要領、裡二  
全午後四時一同退出セリ

以上、如テ前工側ハ數次工場主ヲ訪問シタルモ  
毎度旅乃不在、故リ以テ代理人ニシテ交渉  
往ニ申シレヤ會見シ因遊タルシテ職工側ニ  
於ニハ其不誠意ニ憤慨マルエ強イニ面會シ  
求メ工訪問不ルニ於ニハ法ニ觸ル、廣アレハ寧  
日暮不人體實ニヨリ工場主之信用上甚痛々興  
ヘシト、意觸アルモノナル前記野田、太屋等ハ  
宣擲、目的ヲ以テ在、意觸ヲ浅シ夕九時半市内  
被暴名石自刊新聞紙ハ一者ニ工場主小田仙太郎  
ニ對スル検査隊ヲ組織シ一員尋ね人體實  
廣告ヲ新聞紙、掲載シ又ハ壁柱ニ貼布シテ之  
シ被見、豫ハ五十音ヲ贈興ス等運動ヲ試ミ  
シアリシト、記事ヲ掲載セラモ事實未夕審了  
ニ至ルモノ付念、爲申添候

右及付一通一報候也

